

社協更本だより

第2号

平成9年3月15日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

更木支部編集委員会

11/24

歌と体操で元気はつらつ

—高齢者健康づくり教室—



▲笑顔が絶えず心地よい汗を流しました

稲羽福祉センターにて、日本レクリエーション協会公認上級指導員の糠塚順子先生を講師に招き、「高齢者健康づくり教室」を開催しました。

「で〜んでんむ〜しむし、か〜たつむり〜」と歌いながらの手指の体操。全員で輪になって「どんぐりころころどんぶりこー」の歌

にあわせ肩をたたく体操。途中には川柳を作る頭の体操もあり、名句ならぬ迷句がいくつも誕生し、参加者の笑顔が絶えませんでした。

あつという間の二時間でしたが、体も動かし、大きな声も出せて日頃のストレスも解消でき、よい気分転換になりました。

福祉の心の輪をひろげよう



更木支部長 岩井正義

寒冷の候、会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は支部社協活動に格別のご理解と、ご支援ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さてこの度、私、更木支部長を仰せつかりましたが、創支部以来、着々と地域福祉の拡充とその実効を挙げていただきました先輩各位のご盡力に、改めて感謝と敬意を表するものでございます。

ご承知のように、我が国の人口構成は、近年、少子化、核家族化の傾向が、急速に進みつつあり、したがって、21世紀には、四人に一人が65歳以上となる、本格的な超高齢化社会に突入すると云われています。こうした社会を想定した時、支部社協の果たす責任と、役割の重要性が、ますます強く求められてくると思います。

そこで、この機会に、社協の基本方針をご紹介します、今後の福祉活動について考えてみたいと思います。

支部社協とは……。

『地域の方が自主的に参加、協力する事により、地域における福祉問題を解決する活動、つまり近くの者どうしが力を合わせて、思いやり、助け合いの福祉の心を基調としました「温もりとやすらぎ

のある福祉の街づくり」を目指した、いわゆる、心の愛を、サービスし、届ける、地域の方で組織された自主的団体です。

支部活動の基本目標（三本柱）

一、福祉の心を育てる教育活動
。全世代、特に低年齢層から、敬老の心を。

。高齢者とのふれあいの心を。
豊かな人間形成には、第一条件であること。

二、福祉の輪を広げる活動

。高齢者と住民が直接交流したり、また行事などに招待し、ふれあいの場を多く持つ。

。生き生きと健康でシルバーライフを過ごすため、色々の講座、介護教育、パンフレットの配布などを行う。

三、支部社協の基盤を強化する事業

。高齢者からのアンケート調査など。
。近隣ケアや、ボランティア活動のできる人の育成など。』

このように、市の社会福祉協議会で、基本方針が定められていますが、私達地域に住む者は、高齢者の福祉と云う、幅の広い限りなく奥の深いこの問題を、やがて自分の身にふりかかる問題として、明るい街づくりのために、福祉の心の輪を広げ、地域福祉の向上につとめてまいりたいと思います。

今後共、皆様のご指導と暖かい手をさしのべてくださいますようお願い申し上げます。

7/9 介護機器の利用方法を学ぶ

— 約40名が熱心に受講 —

今年のテーマは「家庭における

介護機器を利用した入浴介助の方

法について」。

市の保健婦、在宅介護センタ

のワーカーの指導のもと、実際に

浴槽と介護機器を使って、入浴介

助の方法について勉強しました。

参加者は「色々な介護機器があ

ることを知り、浴室を改造するこ

となどで、介助が随分と楽になる

ことを知りました」と話していま

した。

なお、介護機器については市在

宅介護支援センター(つづじ苑、

サンパリーかかみ野に併設)や市

社協に展示してあります。



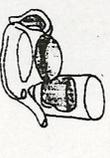
3食前・食後の1時間はさける。

6 用便をすませておく。(1人浴中に排便が1つ、お風呂掃除が終わった後)

と決めておく。

9 手の届く範囲は、できるだけ自分で洗うようにしよう。

12 入浴後の水分補給を忘れずに。



11 入浴後は保湿に注意し、水気を十分拭きとる。湯ざめめに気をつけよう。



8 お湯につかる時間は5分前後に。



10 床ずれなどの症状があるかないかをチェック。



2 慢性疾患をもっている場合は、医師からの注意事項をまもる。



4 入浴前に着替えなどを着用しておく。



7 お湯の温度は38~40度前後で湯量は少なめに。



今年、当町でも「少子化時代」を背景に、青少年の人数は減少傾向にあります。それだけに子供等は町内では宝物に値すると云っても過言ではないでしょう。かつては町内に多くの子供たちが育ち、そして他の地域へと巣立っていききました。しかし、先輩たちが残した「善意の奉仕活動」は、今だに途絶えることなく現在の子供たちに受け継がれております。

7/24 夏休みの思い出

— 大野町子ども会 —

多いようです。

夏休みの六年間お経様を習ったこと

はきつとゆとりとして子ども達の心に

成人しても残っていくと云うことと思

の初めに子ども会全員でお経様を五

日間習っています。

指導者は羽島郡米野町のお寺さん

正浄寺の御住職にお願いしまして、

大野町の公民館でラジオ体操が終わっ

てから、約一時間ほど練習を行って

います。

御住職も早朝から暑い中、袈裟を

着られてのご指導ご苦労様でござい

ます。この町内にはご仏壇のある家

もたくさんあります。

お経様の本を見ながらきちんと正

座して練習している子どもも多く

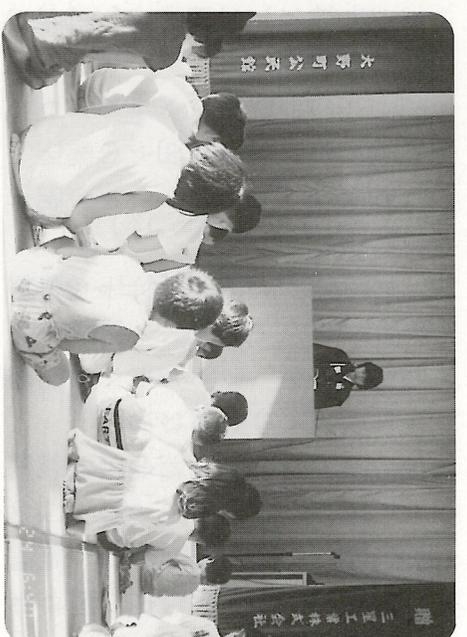
感じさせられます。

低学年の子ども達は、練習の終わっ

た後に戴けるお菓子が楽しみな様で

す。又高学年ともなればお経様にす

いぶん慣れて暗唱している子どもも



7/28

通学路を美しく

三井町子供会・ふれあいクラブ

最近、当町内でも「少子化時代」

を背景に、青少年の人数は減少傾向

にあります。それだけに子供等は町

内では宝物に値すると云っても過言

ではないでしょう。かつては町内に

多くの子供たちが育ち、そして他

の地域へと巣立っていききました。

しかし、先輩たちが残した「善意の奉

仕活動」は、今だに途絶えることな

く現在の子供たちに受け継がれてお

ります。

その実態をご紹介しますと、十数

年前、一町民より奉仕活動として

「汚れている通学路の清掃活動をし



▲隔月に清掃活動を行っている

入浴台・踏み台

浴槽の縁に台を固定して、入浴のとき台に腰掛けそのまゝ体をずらし浴槽に入る。踏み台は入浴のとき、浴槽の外、内に置いて使う。中に置くときは吸盤をつけて使う。

入浴台

ポータブル浴槽

居室で入浴できるようにビニール製のものが多く、空気を入れてふくらませる型と支柱を立てて組み立てる型がある。電動ポンプで家庭の浴槽から引く水もある。家庭環境に適合するものが必要がある。

ポーター浴槽

ポーター浴槽

入浴するときの注意

- 慢性疾患をもっている場合は、医師からの注意事項をまもる。
- 入浴前に着替えなどを着用しておく。
- 入浴中は排便が1つ、お風呂掃除が終わった後、用便をすませておく。
- 入浴前に着替えなどを着用しておく。
- 入浴後の保湿に注意し、水気を十分拭きとる。湯ざめめに気をつけよう。
- 入浴後の水分補給を忘れずに。
- お湯の温度は38~40度前後で湯量は少なめに。
- お湯につかる時間は5分前後に。
- 手の届く範囲は、できるだけ自分で洗うようにしよう。
- 入浴後の水分補給を忘れずに。

入浴はおとしよりの楽しみのひとつ。血行がよくなり、床ずれ予防や寝つきがよくなるなどの効果もあります。病状によっては入浴が危ぶまれる場合がありますが、どんなことに注意し、またどんな条件であれば入浴できるのかなど、医師や看護婦に相談したうえで、できるだけ入浴の機会をつくりましょう。

入浴担架 お風呂昇降機、部分浴用機器、浴槽用マットなどもあるので、障害の程度に合わせて使用することができる。

入浴担架

お風呂昇降機

部分浴用機器

浴槽用マット

入浴はおとしよりの楽しみひとつ。血行がよくなり、床ずれ予防や寝つきがよくなるなどの効果もあります。病状によっては入浴が危ぶまれる場合がありますが、どんなことに注意し、またどんな条件であれば入浴できるのかなど、医師や看護婦に相談したうえで、できるだけ入浴の機会をつくりましょう。

入浴担架 お風呂昇降機、部分浴用機器、浴槽用マットなどもあるので、障害の程度に合わせて使用することができる。

入浴担架

お風呂昇降機

部分浴用機器

浴槽用マット

8/18 三世代ふれあいのつどい

8月18日、三井北町集会所で、「三世代ふれあいのつどい」を開催しました。会場は親子づれや孫と一緒にのおじいさんおばあさんで定刻前に一杯になりました。

最初に、阪神大震災、インダイヤしまごろう、忍たま乱太郎の3本の映画を見ました。昨年の阪神大震災の映画では、東海地方で同じような地震が起きたら、どう対応したらよいかと真剣にスクリーンを見つめている姿が印象的でした。インダイヤしまごろうでは、子供と水族館の職員が力を合わせて、インダイヤに芸を仕込む微笑ましい姿に感動しました。

最後にみんなでビンゴゲームをして、楽しい「三世代ふれあいのつどい」を終わりました。



▲三世代そろって映画を楽しむ

7/28

稲羽中学校生徒の協力で ふれあいの丘花壇の手入れ



▲清掃奉仕で、いい汗流そう

稲羽沖積地帯の北側部に連なる山の西端に位置する自然美の豊かな三井山は、頂上には御井神社奥の宮を始め、ふるさと展望の丘(展望台)及びふれあいの丘を含め、素晴らしいふるさとの発展した歴史的経緯を知得できる絶好の地理的条件を具備していることは周知のとおりであります。

特に校区青少年の健全育成に役立つために継続的な環境整備事業が進められております。

平成8年7月28日市民清掃の日には、稲羽中学校の承認のもとで各地区(10地区)の自治会代表の方と中学生24名の参加によって、ふれあいの丘周辺に4月に定植されたマツバギクの除草作業に協力していただき一段と美しい環境になりました。

中学生の皆さんも、造成花壇は角礫の多い山土の土壌条件に耐えながら育てていく過程での心のこもった作業体験が、地域行事に参加した懐かしい思い出になると推断いたします。

ふるさとの象徴、三井山のふれあいの丘周辺に美しく開花するよう順調な育成を願っている次第でございます。

おわりに作業の実施にあたりまして諸事ご配慮を賜りました。中学生を始め自治会の方々に厚く感謝申し上げます。

10/3

花みこし・花車で賑わう

十月十三日、御井神社の祭礼行事の一つとして、朝八時より、御井神社に幼児から、小学生、中学生、父兄の方、自治会の方など多数の方が参加して、昨年復活しました「花みこし・花車」を午前中、みんなハッピー姿で、より一層祭り気分を盛り上げ、大きなかけ声と笛の音など賑やかに、西から東(三井山付近)まで町内を隅角歩き回りました。

みこしが少し重く、子供達は非常に疲れ、途中で休憩して、ジュースを飲んだ時のおいしさや、最後まで頑張つて御井神社に戻って来た時の満足感と笑顔が非常に印象に残っています。

今後も、幼児から大人までが、一つになって参加出来る行事を作り、さらに連帯感が深まることを期待します。



▲きれいな花みこしの前で、ハイポーズ



▲公共の場所を、みんなできれいにします

部の父兄からは「危険だ」、「交通事故が心配だ」、「ケガをしては困る」などの声もありました。しかし、子供会の歴代役員はこれ乗り越えてリードされ、今日現在に及んでおります。本年度もこの善意の活動は隔月に実行されております。子供たちも、この活動体験を通じて、公道の美化は多くの人たちから感謝され、物を捨てて汚すことは他人に迷惑がかかることだと自覚してくれるものと確信します。

当町内には昨年四月、有志二十七名で「ふれあいクラブ」が発足しました。このクラブ員は当番を決めて、子供会と共に前記の清掃活動に参加し、子供たちと「ふれあい」の場として活動していただいております。又「美しい街づくり」の一つとして、昨年五月より子供たちと「花壇」を造成し、住民に憩いの場を提供していただいております。

おはぎ昼食会

小佐野町近隣ケアグループ



▲心のコもったおはぎをいただく

「ご協力

ありがとうございます

―社協会員募集結果報告―

市社会福祉協議会の会員募集が、昨年八月に自治会を通じて行われました。多くの皆様にご協力をいただきありがとうございます。

この会費は四十%が支部交付金として還元され、支部活動の財源となっております。

更木地区は市内でも高齢化の進んだ地域であり、支部社協活動の重要性も益々高まっております。

社協の会員募集につきましては、格別のご理解をいただき、来年度以降もご協力を賜りますようお願い申し上げます。

超高齢化社会を目前に、近隣ケア1小佐野町あじきグループの私達は、自治会長・民生委員と共に八十歳以上の高齢者・独居老人・身障者の方々をお招きしましてケアグループ十一名で約五十名分位用意しました。当日朝九時から準備いたしました。当所にはお客さまをお迎えして十一時には食事を行いました。今後はアトラクションとしてビンゴゲーム・歓談・本多先生のお話・頭の体操・等々で、楽しく声高らかに笑い、和気あいあいの中に時間の立つのも忘れ親睦を深めました。今後も地域のやすらぎのある福祉の向上と、グループ活動の充実を願い色々企画を考え頑張っ

て行きたいと思っております。

平成8年度社協更木支部会員募集実績表			
自治会名	一般会員数	特別会員数	特別会費額
大野町	189	8	¥94,500
小佐野町第1	92	1	¥46,000
小佐野町第2	73	3	¥36,500
小佐野町第3	100	4	¥50,000
三井町第1	69	11	¥34,500
三井町第2	113	3	¥56,500
三井町東第1	70	10	¥35,000
三井北町第1	82	8	¥41,000
三井北町第2	75	15	¥37,500
三井北町第3	75	5	¥37,500
三井井山	80	1	¥40,000
更木支部合計	1,018	69	¥509,000
会員数合計	1,97	1,087	¥580,000
会費額合計	¥102,500	¥47,000	¥149,500
特別会費額	¥8,000	¥12,000	¥20,000
一般会費額	¥94,500	¥8,000	¥49,000
大野町	197	90	¥49,000
小佐野町第1	95	90	¥32,500
小佐野町第2	74	80	¥42,500
小佐野町第3	104	81	¥41,000
三井町第1	80	116	¥59,500
三井町第2	116	80	¥47,000
三井町東第1	80	90	¥49,000
三井北町第1	90	90	¥32,500
三井北町第2	90	80	¥42,500
三井北町第3	80	81	¥41,000
三井井山	81	81	¥41,000
更木支部合計	1,087	69	¥71,000

夏休み体験学習「つじ苑」

稲羽西小学校四年 多和田 早記

八月九日、夏休みの体験学習でつじ苑に行きました。私はつじ苑に一度も行ったことがないので、中に入ってみると、とても学校から歩いてつじ苑につきま

す、小さな部屋に入って園長さんに話を聞きました。つじ苑には約六十人の人たちがとまっているそうです。その中で男の人より女の人のほうが人数が多いそうです。それから病気になる人がたくさんいるという話も聞きました。例えば、ちほつしょうという病気で、おほつしょうという病気が、トイレに行きたくてもトイレがどこにあるかわからなくて部屋のすみっこでしてしま

うとか、食べていけない物を口の中にいれてしまふようなおそろしい病気で、私の家の亡くなったおじいちゃんは今でもちほつしょうで、おじいちゃんはハサミでこのコンセントを切っていました。一人であつてに外に出ていたり、しまつたりしていました。それは、年よりなつてかかる病気だから私

はまだ子どもなので幸せだなと思いましたが、つじ苑でつじ苑のおばあさんにたいてやさしくしてあげることによつておじいさんやおばあさんにと

わのズレをたぶつつけてゴジシというしゃけんめいやりました。だいぶ時間がつて何まいかの大き

なガラスがつきつきときれいになつていききました。全部のまどガラスがきれいになつてつじ苑がきれいになりました。

つぎは、おじいさんやおばあさんに話しかけたりするときです。私はその前にいくつかの部屋を見回りました。各通路には、花の名前の通り

があります。ひまわり通り、カーネーション通り、さくら通り、すいせん通り、コスモス通りなどその

やおばあさんかもどつてきました。それから時間がたつておじいさん

おじいさんやおばあさんと話をしてから、5年間つとめているりょうぼ

さんたちの話を聞きました。話を聞くと春には花見、夏には祭り、ぼん

おどり、秋には運動会、けいろうの会、冬にはクリスマス会というよう

な行事があるそうです。また、誕生日会があつてたん生日の人は、つじ苑から外に出て食事をしたり、

遊んだりできるそうです。それから

プレイサービスというのもあつてそれは決まつた曜日におじいさんやおば

あさんをおかえに行つてつじ苑におくつていくことです。その間に例

えば手の不自由な人だったら車の中でかるい運動ができるようになって

いる、車なのでべんりだなと思いま



ら、すげいなと思つてきました。園長さんがまたおいでといつてくれました。私は、そんなこといわずに、もう一度お話を聞きました。つじ苑で

お話を聞きました。つじ苑で